

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書 学校法人 西照学園 楠橋幼稚園

1・本園の教育目標 ・元気で明るい子ども ・感謝の気持ち、豊かな心をもった子ども ・思いやりのあるやさしい子ども

2・本年度の重点的に取り組む目標…表内赤文字

3・評価項目の達成及び取り組み状況 取組と成果に関する評価結果… A:とても良い B:良い C:普通 D:良くない(要検討)

重点 目標	評価項目	評価指標 及び 評価結果						コメント 評価結果に関する説明・意見書		
		基準	取組指標	取組 結果	基準	成果指標	成果 結果		総括 評価	
①運動遊びを通して、幼児の身体能力や意欲を高め、 運動の楽しさを味わう。	意欲的に身体を動かして遊ぶ環境の構成を行う。 (年中・年長)	4	運動発達について学び、指導計画に取り入れ、継続して見守る。	3.0 (B)	4	目標に向かって、頑張ろうとする姿が見られる。	3.5 (A)	3.2 (B)	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会やなわとび大会などの行事も以前のように実施することができ、身体を動かす活動時間が増えた。 ・運動遊びを繰り返し行うことで、運動能力だけでなく、達成感や充実感にも繋がった。 ・保育者自身が環境を整え、運動遊びの教材研究を行い、日々の保育に生かしていきたい。 	
		3	進んで身体を動かして遊ぶ環境を作る。		3	遊具や運動器具を身近に感じ、遊ぶことが増えている。				
		2	遊びの様子を捉え、記録する。		2	自ら遊んでいる子もいれば、興味を示さない子もいる。				
		1	遊びの様子を観察する。		1	好きな遊びを楽しんでいる。				
	身体を動かす気持ち良さや楽しさを感じる。 (満3・年少)	4	一人ひとりに合った、援助の仕方、遊びを計画する。	3.0 (B)	4	進んで運動遊びに参加する。	3.0 (B)	3.0 (B)		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が一人ひとりの遊びを観察する中で、子ども自身が繰り返し興味を持った遊びを楽しむ姿が見られるようになった。 ・何をしてもよいかかわらず、不安な子どもの姿も見られるため、引き続き、子どもの気持ちに寄り添いながら遊びを提案し、援助をしていきたい。
		3	発達段階を理解する。		3	運動遊びの道具に触れている。				
		2	保育者も一緒に楽しみながら遊ぶ。		2	色々な遊びを知る。				
		1	一人ひとりをよく見る。		1	好きな遊びをしている。				

重点 目標	評価項目	評価指標 及び 評価結果						コメント 評価結果に関する説明・意見書	
		基準	取組指標	取組 結果	基準	成果指標	成果 結果		総括評価
② 地域交流を通して、 様々な人に親しみを 持つ。	地域の方たちとの 交流を増やし、 触れあう楽しさを 感じる。	4	地域の行事や交流会を通して、地域の方に親しみを持つことができるようにする。	3.5 (A)	4	名前を覚え、関わりが深まる。	3.3 (B)	3.4 (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームへの訪問やボランティアの読み聞かせ会など地域の方とかわる時間が増えた。 ・子どもたちが地域の方に親しをもって声を掛ける姿が見られるようになった。 ・グループホームとの交流会では、感染症の影響でスキンシップを取り入れた交流の内容の実践は難しかったので、今後の課題にしていきたい。
		3	イベントの参加や園行事に招待するなど地域の方と関わる場を設ける。		3	地域の人と楽しい時間を過ごす。			
		2	グループホームとの交流会を計画し、連絡する。		2	交流会を楽しみにしている。			
		1	保育計画にお散歩の回数を増やす。		1	幼稚園の周りの施設や地域の人に関心を持つ。			

○総合的な評価結果

評 価	理 由
3.1 (B)	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の中で課外教室や決まったカリキュラムがあり、運動あそびの時間があまりとれないことがあった。しかし、子どもたちは戸外遊びや自由遊びを通して、身体を動かすことの楽しさや面白さを感じることができていた。 スポーツ選手にも来園していただき、スポーツ教室に参加できる機会があった。その中で普段できない経験もできた。 ・今年度も年長児が小学校を訪問し、学校の先生や小学生との交流を持つことで、就学への不安が和らぎ、期待を膨らますことができた。 また、地域のグループホームとの交流では、今年も感染予防の為館内に入れず、屋外での交流会となった。 天候に左右され、延期や中止することもあったため、来年度は気候の良い時期に交流会の回数を増やし、充実した地域交流に繋げていきたい。

○今後取り組む重点的課題

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み 方 法
① 地域との交流	・年間計画や交流内容を見直し、活動内容を深める。
② 保護者への対応	・家庭との連携を密に取り、保護者に寄り添いながら子どもたちの成長を共に見守る。

○学校関係者評価委員会の評価 委員会実施日 令和 6 年 3 月 22 日

<p>本年度の重点項目「運動遊びを通して、幼児の身体能力や意欲を高め、運動の楽しさを味わう。」については、マラソン大会やなわとび大会などの</p>
<p>行事に取り組み、目標達成の具体的な手立てがしっかりととれている。保護者のアンケートからも、「家族で身体を動かして遊んでいる」という問いに</p>
<p>対して肯定的な回答を示した保護者が多くなっており、取り組みの成果が表れている。</p>
<p>重点的目標の2つ目「地域交流を通して、様々な人に親しみを持つ」についても、グループホームや小学校への訪問だけではなく、読み聞かせ</p>
<p>ボランティアとの交流活動にも取り組んでいる。保護者アンケートの質問項目「絵本の読み聞かせなどを週にどのくらいしていますか？」について、</p>
<p>「毎日」や「週に3日～4日」と回答する保護者が半数を占め、絵本の読み聞かせに取り組む家庭が昨年度よりも大幅に増加している。</p>
<p>保護者アンケートの「幼稚園に行くのを楽しみにしていますか？」という質問項目に対して、保護者の97%が肯定的な回答をしており、幼稚園</p>
<p>の経営方針に保護者は満足している。次年度も、運動の取り組みや地域との交流をさらに深めていただきたい。</p>